

## 子どもから大人まで全国で58万人以上が参加 「あすチャレ！」が10年目を迎えました

2025年度も年間900回を目指し、パラアスリートを中心とした講師が全国に！

パラスポーツを通じて共生社会への気づきや学びの機会を提供します

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター（パラサポ | 東京都港区、会長 山脇康）は、誰もが活躍できるDE&I\*社会の実現を目指し、日本全国の小・中・高・特別支援学校向けの教育プログラム、ならびに企業・団体・自治体・大学向けの研修プログラム「[あすチャレ！](#)」を展開しています。

\*DE&I: Diversity Equity & Inclusion

2016年から2024年度末までに約5,600回、子どもから大人まで58万人以上が参加。10年目となる2025年度は、本日4月9日(水)「あすチャレ！ Academy」の開催でスタートしました。



2025年度は、株式会社JTB、株式会社アシックス、日本電気株式会社(NEC)、日本航空株式会社(JAL)、中外製薬株式会社の協賛5社の皆さんと協力しながら、全国で年間900回以上の開催を目指します。

### ～「あすチャレ！」10年目を迎えて～

本年度、あすチャレ！は10年目を迎えました。2016年、1台の大型車に12台の車いすバスケットボールの競技用車いすを積んで、講師1人、事務局員2人で「あすチャレ！スクール」がスタートしました。

その後、仲間が少しずつ増え、2024年度にはパラアスリートを中心とした約80名の講師、職員、事務局スタッフ、および協賛社の皆さんと協力し、5つのプログラムを全国で965回実施いたしました。これまで時代の変化に合わせ、伝え方を柔軟に見直し「明日へのチャレンジ＝あすチャレ！」をお伝えしてきました。途中、コロナ禍もありましたが「学びを止めない」という強い想いでオンライン授業・研修を開始するなど、自分たちがチャレンジ(挑戦)し続けることを何よりも大切に1件1件を開催してきました。



DE&Iプログラム推進部  
ディレクター 山本恵理

「あすチャレ！」の参加者の皆さんからたくさん聞く言葉が『目から鱗でした』です。これまで意識していなかった視点に気づき、視点が変わることで「できない」と思っていたことも「できる」に変えられる、DE&I社会に向けて『明日へのチャレンジ』をしていただける全国の58万人の『仲間』と出会うことができました。

10年間の挑戦の結果、社会はどう変わってきているのか？それを楽しみに、パラサポはこれからもチャレンジを続けていきます。

### ①「あすチャレ！」5つのプログラムで通算5,000回開催

2024年9月27日、千葉県香取市の香取市立竟成小学校で実施した「あすチャレ！スクール」で通算5,000回を迎えました。



<プレスリリースはこちら> <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000134.000023445.html>

### ②「あすチャレ！メッセンジャー」高校生キャリア教育授業をスタート

自己理解や課題対応能力を育み、未来の選択肢を広げるための重要な一歩を提供する高校生を対象とした新プランをスタートし、長野県の長野市立長野高等学校1年生約80名を対象に全国初の授業を行いました。



<プレスリリースはこちら> <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000139.000023445.html>

### ③『パラスポーツ×謎解き～あすチャレ！ヒラメキアスリートを目指せ～』を開催

3月8日(土)、9日(日)の2日間、親子向けイベント『パラスポーツ×謎解き～あすチャレ！ヒラメキアスリートを目指せ～』をパラスポーツ専用体育館「日本財団パラアリーナ」で開催しました。



<当日の様子は「パラサポWEB」へ> <https://www.parasapo.tokyo/topics/122333>

# 「あすチャレ！」参加者の声

## ◎感想

- 人のために行動することが自分のために行動するより力が出るという言葉が印象に残りました。(教員アンケート)
- 何事も全力で楽しむことの重要性を学んだため、このマインドを今後の人生に生かす。(運動会参加者)
- 「簡単に思っているからできない」と決めつけてしまうのではなく、「何か工夫できないかな」と考えることが大切だとわかった。(小学6年生)
- 夢や目標を見つけ、チャレンジしてみる大切だとわかりました。(児童・生徒)
- 何気なく過ごしている日々のありがたみを感じ、磨いていたこともちょっとしたことを変えるだけでできるかもしれないという気づきがありました。(児童・生徒)
- 動画や教科書を見るよりも、生で実際に体験することのすばらしさを再確認できました。(教員アンケート)
- できないではなく、どうしたらできるかを考えることが大切なんだと感じました。(児童・生徒)
- 各々に得意不得意があり、得意なことを活かせる場を見つけることが大事だと気付いた。他人の長所を見つめ、伝えるということが続けたい。(運動会参加者)
- 合理的配慮はお金と時間をかけてやるだけでなく、対話や工夫次第で相互理解を深め、今すぐにも実行できることがあると気付いたので、合理的配慮に対するハードルがかなり下がりました。(Academy受講者)
- 障がいがある・なしで特別視せず、その「人」を見ることが重要だとわかりました。(Academy受講者)

## ◎あすチャレ！宣言

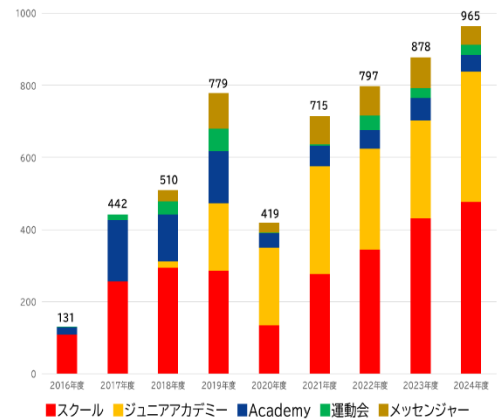
- あきらめないで何度もチャレンジすることが大切だと思いました。これから苦手なことやチャレンジしようと思っています。(児童・生徒)
- だれかにたずねてもらった、その人にたずねてもらったことをかえしてあげたいです。(児童・生徒)
- 自分がいつも利用する場所でもバリアフリーの場所など、障害を持った方がどのように利用しているかなど考えて利用したい！(10代学生)
- できる/できないの二択ではなく、どのように変えていけるのかという視点を持つようにする。(20代女性)
- 今回の講義がなければ、従来では見えなかった障がい者からの視点や、障がい者の方々から本当に必要としているものは何かなど、学べたことが沢山ありましたので、本当に参加して良かったです。(20代男性)
- コミュニケーションを通して自分と相手の選択肢を増やすこと。(20代大学生)
- 人の可能性にチャレンジするのがバラスポートという言葉が刺さった。何事も諦めず色々な可能性を考え行動に移します。(運動会参加者)
- 「できない」とあきらめるのではなく、「できる」とあきらめずに何事にも工夫を頑張る。(児童・生徒)
- 「あすチャレ！」すごくいい言葉だと思う。仕事においても工夫や声かけを頑張っていきたい。(20代女性)
- 心の壁を無くす！(60代男性)
- 街中で困っていても人を見かけたときに、深く考えすぎずひとまず声を掛けてみる。(20代男性)
- 自分を枠に閉じ込めない生き方をする。(40代男性)

# 2024年度「あすチャレ！」実績

◎2024年度のプログラム別実績(開催回数、参加人数)

プログラム	スクール	ジュニアアカデミー	Academy	運動会	メッセージジャー	合計	
開催回数(単位:回)	476	361	48	28	52	965	
内訳	対面	476	336	31	28	46	917
	オンライン		25	17		6	48
参加人数(単位:人)	40,572	32,400	3,080	2,555	11,021	89,628	

◎2016年度～2024年度までのプログラム別開催回数



◎2016年度～2024年度までの都道府県別開催回数

地域	地域計	都道府県	都道府県計	スクール	ジュニアアカデミー	Academy	運動会	メッセージジャー	地域	地域計	都道府県	都道府県計	スクール	ジュニアアカデミー	Academy	運動会	メッセージジャー							
北海道	198	北海道	198	90	94	10	4	10	近畿地方	812	三重県	49	37	10	0	0	2							
東北地方	282	青森県	46	31	9	5	1	3			滋賀県	46	13	16	1	1	15							
		岩手県	55	32	16	6	1	1			京都府	48	13	24	4	2	5							
		宮城県	86	75	5	4	2	6			大阪府	359	223	50	58	4	24							
		秋田県	11	5	4	2	0	0			兵庫県	240	154	40	25	3	18							
		山形県	22	17	3	2	0	1	奈良県	55	39	12	0	0	4									
関東地方	2596	福島県	62	42	7	8	5	2	和歌山県	15	9	6	0	0	0									
		茨城県	68	35	17	4	2	8	鳥取県	10	7	2	0	0	1									
		栃木県	32	24	8	0	0	3	徳島県	51	47	4	0	0	0									
		群馬県	49	13	34	2	0	1	岡山県	36	23	8	2	1	2									
		埼玉県	263	171	73	12	7	15	広島県	83	51	11	15	1	5									
中部地方	694	千葉県	537	205	318	11	3	24	山口県	79	37	34	1	3	4									
		東京都	1,331	475	295	410	151	159	徳島県	18	10	6	2	0	0									
		神奈川県	326	80	216	26	4	74	香川県	89	48	15	22	1	3									
		新潟県	116	80	29	6	1	2	愛媛県	28	20	5	3	0	0									
		富山県	19	14	3	2	0	0	高知県	19	15	4	0	0	0									
九州・沖縄地方	274	石川県	42	27	11	4	0	5	福岡県	86	21	33	23	4	5									
		福井県	7	4	1	1	1	0	佐賀県	24	21	3	0	0	0									
		山梨県	41	36	3	1	1	2	長崎県	45	22	17	3	1	2									
		長野県	133	83	37	9	4	20	熊本県	33	22	8	2	0	1									
		岐阜県	83	65	16	2	0	6	大分県	15	12	2	1	0	0									
静岡県	84	22	45	13	4	7	宮崎県	46	43	3	0	0	0											
愛知県	169	76	70	17	6	15	鹿児島県	13	10	0	3	0	0											
沖縄県	12	5	4	2	0	1	沖縄県	12	5	4	2	0	1											
北海道	198	東北	282	関東	2596	中部	694	九州・沖縄	274	近畿	812	合計	965											
北海道 東北 関東 中部 九州・沖縄 合計													3,770	1,702	1,314	557	197	364	1499	902	317	167	21	92
海外(シンガポール)													3	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0
計													5,636	2,607	1,631	724	218	456						

パラサポはDE&I社会の実現に向け小・中・高・特別支援学校向けの教育プログラム、企業・団体、自治体や大学向けの研修プログラムを提供しています。

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

### あすチャレ! スクール



パラスポーツのデモンストレーション、体験、講話を通じ共生社会への気づきや学びの機会を提供するパラスポーツ体験型出前授業。

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

### あすチャレ! ジュニアアカデミー



チガイが際立つパラアスリート講師から共生社会を学ぶワークショップ型授業。受講形式はオンライン、対面を選択可。

企業・団体・自治体・大学  
向け研修プログラム

### あすチャレ! Academy



パラスリート講師とのコミュニケーションを通じ障がいに対するギモンを解決。コミュニケーション編、合理的配慮編などのプランがありオンライン、対面、ハイブリッドを選択可。

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

企業・団体・自治体・大学  
向け研修プログラム

### あすチャレ! 運動会



パラスポーツの魅力を「リアル」に体感してもらい、そこから生まれる「気づき」を提供するパラスポーツ運動会プログラム。

小・中・高・特別支援学校  
向け教育プログラム

企業・団体・自治体・大学  
向け研修プログラム

### あすチャレ! メッセンジャー



スピーチトレーニングを経て、伝えるスキルを体得したパラリンピアンやパラアスリートの認定講師（メッセンジャー）による講演プログラム。

日本財団の支援を受け2015年5月に活動を開始した日本財団パラスポーツサポートセンター\*(パラサポ)は、運営基盤に課題があったパラリンピック競技団体の持続可能な運営体制構築のため、2015年11月、競技団体・関係団体との共同オフィスを開業しました。また安定した団体運営に欠かせない事務局人件費、競技人口を増やす活動を行うための普及啓発費、広報・マーケティング費等の助成金をはじめ、会計・翻訳など共通する業務を集約し効率的な団体運営を推進する「シェアードサービス」の提供により基盤強化に取り組んでいます。

2018年6月には、パラアスリートの練習環境向上、普及啓発イベント実施などを目的とした「日本財団パラアリーナ」を開業、これまでに延べ6.8万人を超えるパラアスリートが活用しています。

パラアスリートを中心とした講師が行う小・中・高・特別支援学校向けの教育プログラム、企業・団体・自治体・大学等向けの研修プログラム「あすチャレ!」は、全国で年間900回以上を開催、2016年度から2025年3月末までに国内外で約5,600回開催、子どもから大人まで58万人以上が参加しています。

また2024年4月には運動会にインクルーシブな種目を導入して、先生や児童生徒たちがインクルーシブな考え方やその大切さを知ってもらうことを通じ、インクルーシブ教育推進の機会を提供する新プログラム「[パラサポ! インクルーシブ運動会](#)」をスタートしました。



【報道関係者からの問い合わせ先】

パラサポPR事務局(株)アンティル 担当:前川・伊藤・鋤崎

TEL:03-6821-7863 FAX:03-6685-5265 Mail:parasapo@vectorinc.co.jp